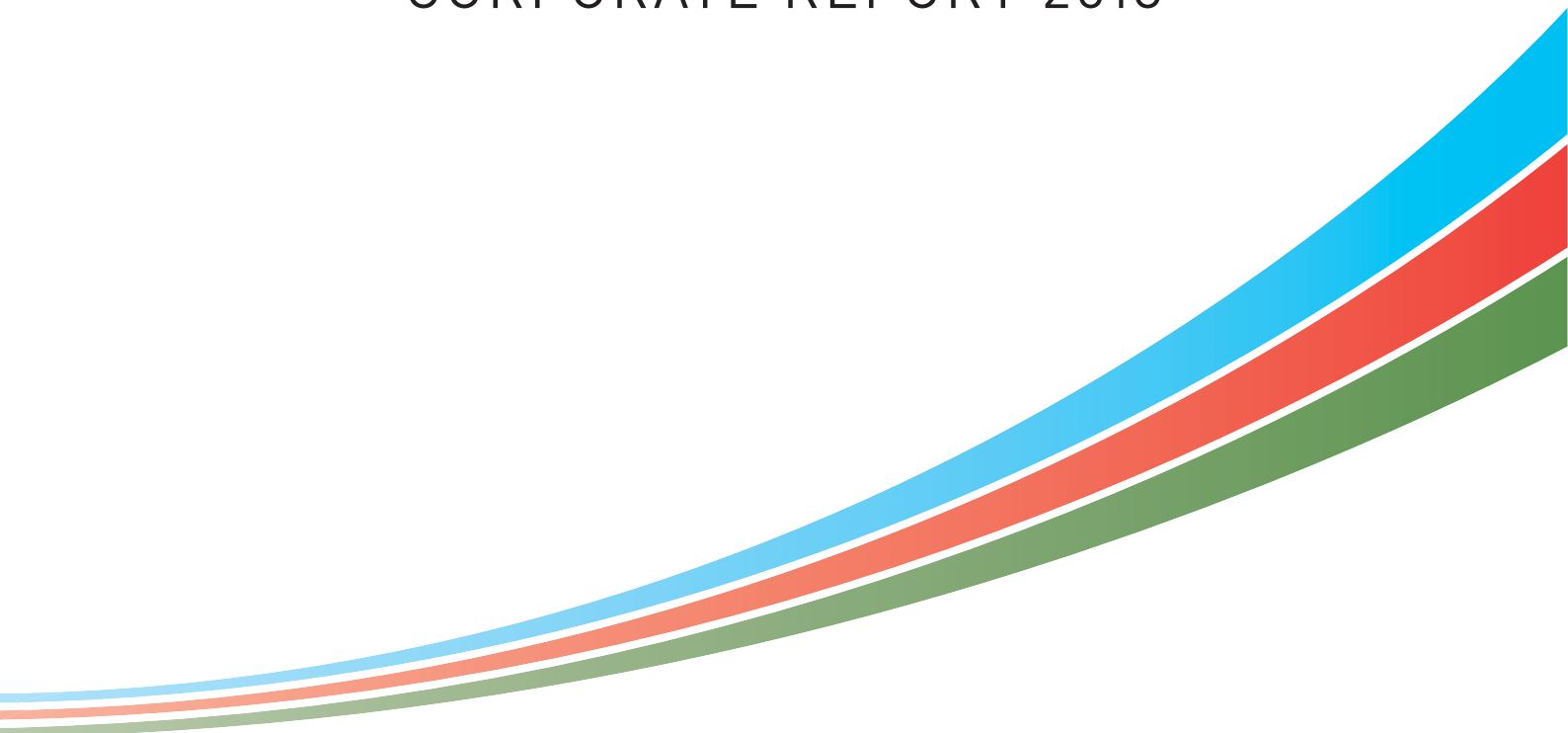


# CORPORATE REPORT 2018



## この手で守る自然と資源

## Contents

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 会社概要                            | 01 |
| <b>アサヒホールディングスを知る</b>           |    |
| トップメッセージ                        | 02 |
| アサヒウェイ                          | 03 |
| これからのアサヒホールディングス<br>(第8次中期経営計画) | 04 |
| アサヒホールディングスの歩み                  | 06 |
| アサヒホールディングスの価値創造                | 08 |
| <b>アサヒホールディングスの事業領域</b>         |    |
| 3つの事業領域                         | 10 |
| 事業紹介                            | 12 |
| 貴金属事業                           | 12 |
| 環境保全事業                          | 18 |
| ライフ&ヘルス事業                       | 22 |

|                     |    |
|---------------------|----|
| <b>ESGの取り組み</b>     |    |
| <b>G 企業統治</b>       |    |
| コーポレートガバナンス         | 26 |
| リスクマネジメント           | 28 |
| 役員紹介                | 29 |
| <b>E 環境</b>         |    |
| アサヒホールディングスの環境貢献    | 30 |
| 環境マネジメント            | 32 |
| 地球温暖化防止への取り組み       | 33 |
| <b>S 社会</b>         |    |
| 健康経営・安全な職場づくり       | 34 |
| ワークライフバランス          | 34 |
| ダイバーシティ・インクルージョン    | 35 |
| 人材育成                | 35 |
| ステークホルダーとのコミュニケーション | 36 |
| グループ会社体系図           | 39 |
| 財務ハイライト・非財務ハイライト    | 40 |

グループシンボルマークについて  
スパイラルをモチーフにしたシンボルマークは事業特徴である循環による環境保全を追求していくという企業姿勢や継続性、成長性を意味しています。また、上下に伸びる矢印は先進的で躍動的な企業であることを表現しています。青・赤・緑の3色はそれぞれが「清らかな水・空」、「人間が活動していくエネルギー」、「美しい自然や森」を象徴しています。



### アサヒホールディングス株式会社

創 業：1952年7月  
 設 立：2009年4月  
 資 本 金：7,790百万円  
 代表取締役：寺山 満春(会長) 東浦 知哉(社長)  
 本 社：〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17  
 ニッセイ三宮ビル16F  
 TEL:078-333-5633 FAX:078-333-5681  
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6270-1833 FAX:03-6270-1859  
 従業員数(連結)：1,928名(2018年3月31日現在)  
 U R L：http://www.asahiholdings.com/



神戸本社



東京本社

### アサヒプリテック株式会社

事 業 内 容：貴金属リサイクルおよび産業廃棄物処理  
 代表取締役：中西 広幸  
 本 社：〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17  
 ニッセイ三宮ビル16F  
 TEL:078-333-5600 FAX:078-333-5681  
 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6270-1820 FAX:03-6270-1825  
 U R L：http://www.asahipretec.com/

#### 国内拠点

研究所：テクノセンター(神戸)  
 工 場：埼玉、長野、尼崎、神戸、テクノセンター、愛媛、北九州、北九州ひびき、福岡  
 営業所：札幌、青森、仙台、新潟、北関東、関東、横浜、甲府、長野、静岡、名古屋、  
 北陸、阪神、神戸、岡山、広島、四国、北九州、福岡、鹿児島、沖縄

#### 関係会社

ASAHI G&S SDN. BHD.(マレーシア) 上海朝日浦力環境科技有限公司  
 韓国アサヒプリテック株式会社 朝日浦力科技股份有限公司(台湾)

### アサヒライフ&ヘルス株式会社

事 業 内 容：生活および健康関連機器・設備の製造・販売・施工  
 代表取締役：大槻 利幸  
 本 社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6895-1870 FAX:03-6270-1839  
 U R L：http://www.asahilh.com/

#### 関係会社

株式会社フジ医療器 株式会社インターセントラル  
 継永工業株式会社 Fujiiryoki, Inc.(米国)

### ジャパンウェイスト株式会社

事 業 内 容：産業廃棄物処理およびその他の環境保全  
 代表取締役：奥村 恵一  
 本 社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6270-1828 FAX:03-6270-1839  
 U R L：http://www.japanwaste.co.jp/

#### 関係会社

JWケミテック株式会社 JWガラスリサイクル株式会社  
 株式会社太陽化学 日本ケミテックロジテム株式会社  
 富士炉材株式会社 株式会社イヨテック  
 エコマックス株式会社

### アサヒアメリカホールディングス株式会社

事 業 内 容：北米金・銀精錬  
 代表取締役：東浦 知哉  
 本 社：〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12  
 サビアタワー11F  
 TEL:03-6895-1900 FAX:03-6270-1859

#### 関係会社

Asahi Refining USA Inc.  
 Asahi Refining Canada Ltd.

## ▶ トップメッセージ

第7次中期経営計画の最終年度である2017年度は、営業利益を2度上方修正し138億円と過去最高の業績となりました。グループ傘下の全ての会社と全ての事業単位の業績で黒字を計上しました。その結果、当社が経営効率化の指標としているROE(自己資本利益率)は17.3%となりました。また、この3年間で、IFRS(国際会計基準)の適用、監査等委員会設置会社への移行、コーポレートガバナンス体制の強化など、グローバル経営の基盤を固めました。

第8次中期経営計画のスローガンは「独創性と成長を追求するグローバル企業へ」です。2018年4月から始まる中期経営計画の期間は3か年ですが、創業70年を迎える5年後を見据えた計画と位置付けています。2020年度までに、ITを活用した新しい技術や新しいシステムの開発や新しいビジネスモデルへの挑戦を積極的に行います。5年後の2022年度には、基幹事業である貴金属事業セグメントおよび本年4月に設立したアサヒライフ&ヘルス株式会社が運営するライフ&ヘルス事業セグメントは「世界のアサヒブランド」として、環境保全事業セグメントは「日本のアサヒブランド」として、これからの3年間の様々な挑戦が開花しているでしょう。

当社の事業は10年前と比較すると構成内容が大きく変わっています。事業環境の変化に応じて、撤退したビジネスは10を超え、新たに起こした事業や傘下に収めた事業は20を超えています。過去20年間で20社以上の企業を買収してきましたが、その95%以上の会社を買収前を上回る業績を上げてきました。それを可能にしたのは「変化への対応力」と「事業を再生する経営力」です。

私たちの経営理念と社員の行動指針は「アサヒウェイ」に端的に表現されています。「わたしたちの信条」は、当社グループの事業そのものが2015年に国連で採択された「SDGs(持続可能な開発)」であり、これからも一層「地球のサステナビリティ」に貢献する意思を示しています。「企業として大事にする」ことは、様々なステークホルダーと協調しながら、「無形の資産」を重視する考えを示しています。「モラルの高い社員集団」と「信用の象徴であるブランド力」が、長期的に安定した成長には不可欠です。

「革新と挑戦」の精神で、事業環境の変化を克服しながら成長を続ける「アサヒホールディングスグループ」へのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年5月  
代表取締役会長(CEO)

手山 謙吾



# アサヒウェイ

“この手で守る自然と資源”

アサヒホールディングスグループは、わたしたちの信条、企業として大事にすること、社員として守ること、行動指針などを、グループ社員が共有すべき価値「アサヒウェイ」として定めています。取締役および経営幹部社員は、当社グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目的とした「アサヒウェイ」を率先して実践します。

### わたしたちの信条

わたしたちは、  
限りある資源を大切にし  
地球の環境を保全し  
人々の健康をサポートします。

### わたしたちが社員として心がけること

革新と挑戦  
安全最優先  
高い品質の保持  
素早い報告(特に悪い情報こそ早く報告)  
信頼と絆

### わたしたちが企業として大事にすること

#### ステークホルダーとの協調

株主・顧客・取引先・社員・地域社会・自然環境に配慮し、信頼が得られる活動を実践する。

#### 攻めと守りのバランスがとれたコーポレートガバナンス

意思決定の透明性を確保し  
リスクを適切に管理しながら  
成長戦略や事業改革を果敢に推進する。

#### 利益なくして成長なし

企業グループ全体の成長と利益を通して  
長期的な株主価値の向上を実現する。

#### 信頼されるコーポレートブランド

クリーンな企業グループであると広く認知され  
長く信頼されるブランドを維持する。

#### さまざまなリスクへの対応

職場の日常の安全性の確保や業務事故の防止を徹底し  
各種災害への備えを確立する。

#### 社員のモラル向上

社員の仕事と生活全体との調和を重視し  
働く環境や労働条件を継続的に向上する。

#### 強い使命感と高い倫理観

社員一人ひとりが仕事に誇りを持ち  
幹部社員は強い使命感と高い倫理観を持つ組織とする。

#### グッド・ピープル・カンパニーの継承

善なる社員を長期に亘って大事にする。  
善なる社員とは、利己主義的ではなく  
自他の共栄と事業の発展を願う社員である。

### アサヒホールディングスグループ 10の規則

- 第一則 いかなる法令や規範にも違反しない
- 第二則 社会通念や自己の良心に反することを行わない
- 第三則 年齢・性別・国籍・人種・宗教などに基づく差別を行わない
- 第四則 業務に関連した場所で政治活動や宗教活動を行わない
- 第五則 お客様に不誠実な対応をしない
- 第六則 取引先の決定において公平な競争や最適な選定を妨げない
- 第七則 業務上知りえた情報を外部に漏洩しない
- 第八則 個人的な利得につながる食事や贈答品を提供しないし受け取らない
- 第九則 個人や自ら所属する組織より全体最適を優先する
- 第十則 現場・現物・現実を重視する

## ▶これからのアサヒホールディングス(第8次中期経営計画)

### 連結業績目標

|       | 2018  | 2019  | 2020  | (億円) |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 売上収益  | 1,200 | 1,300 | 1,400 |      |
| 営業利益  | 140   | 150   | 160   |      |
| 営業利益率 | 11.7% | 11.5% | 11.4% |      |
| ROE   | 14.1% | 13.8% | 13.5% |      |

### スローガン

#### 独創性と成長を追求するグローバル企業へ

##### 第8次中期経営計画のスタートにあたって

第8次中期経営計画においては、各事業領域における5年後のゴールイメージをしっかりと見据え、収益性を維持しながら中長期的に成長を遂げるための取り組みを推進します。今回の中期経営計画において特に強調している点は、次の3つのキーワードで表されます。

第1のキーワードは「無形資本の充実」です。

なかでも重要なのは人的資本への投資です。当社グループはさまざまな分野から多様な人材を受け入れ育てることで成長してまいりました。その柔軟なプラットフォームを活かしながら、日々刻々と激動する事業環境の変化に対応し、グローバルに活躍できる人材をより多く生み出さなければなりません。そのようなしくみを強化することが成長の持続を支えます。経営基盤の最重要部分は有為な人材群を形成する力であるという考え方に沿って、採用、研修、ローテーションなどを計画的に強化します。

また、知的財産を組織内で生み出すことにも注力します。具体的には、貴金属・環境・ライフ&ヘルスの各セグメントにおいてAI等を駆使した新たな技術の開発に積極的な投資を行います。1998年のテクノセンター設立時より標榜してきた「技術のアサヒ」の伝統を承継します。

第2のキーワードは「業務の自動化」です。

貴金属精錬や産業廃棄物処理の業は、絶えず変種変量への対応を求められるため、自動化が難しい現場を多くかかえます。しかしながら、最新の情報技術の調査・研究に努め、長期的な視点での業務革新につなげるべく、「10年先も最先端のオペレーション」となるような自動化を目指します。生産現場に限らず、営業・輸送・管理などの業務分野においても自動化を進めます。自動化の前段において、ゼロベースで業務を見直し、ムダを取り除き、本来の業務目的とのズレを修正します。結果として、生産性が飛躍的に高まることを期しております。

これらの生産性向上の取り組みは、高齢化や人口減少といった社会的課題に対応する意義を有するとともに、社員のワーク・ライフ・バランス向上にもつながるものと考えております。

第3のキーワードは「ソーシャルインパクト志向」です。

世界的に社会的課題をビジネスの力で解決する試みが広がっています。国連が国際社会の持続可能な発展のために必要な目標SDGsを策定したのがそのきっかけだといわれています。当社はこれまで以上に社会の諸課題に向き合い、SDGs視点での企業活動を通して発展を遂げてまいります。

第8次中期経営計画の定量的および定性的な目標の達成は、当社グループの永続性や企業価値の向上に確実に資するものでありますから、グループ全社一丸となって最大限の努力をしております。アサヒホールディングスグループへの変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2018年5月  
代表取締役社長 東浦 知哉

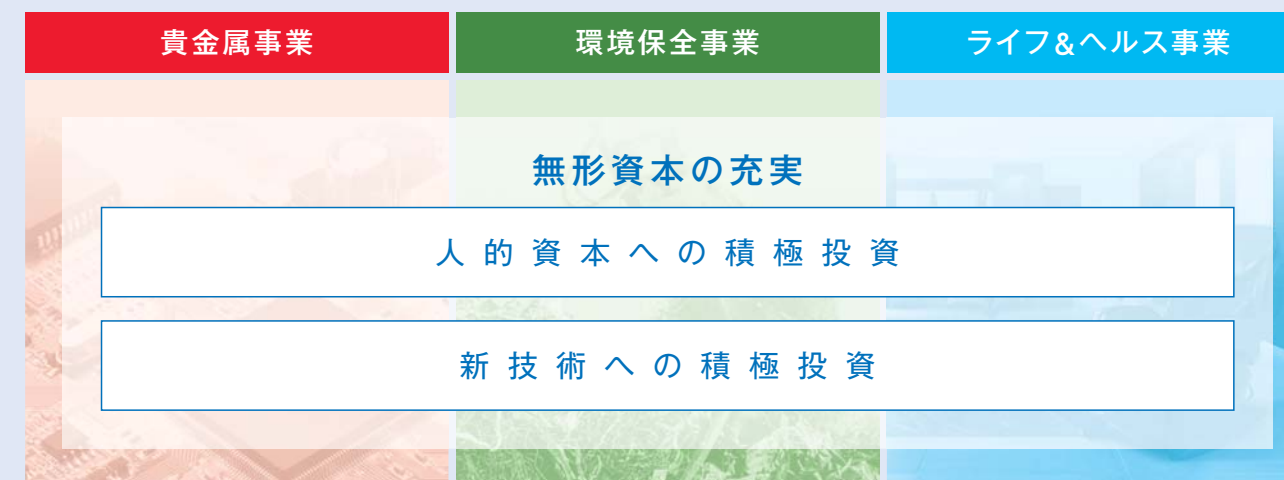
### 基本方針

貴金属精錬分野で  
世界ナンバーワン企業へ

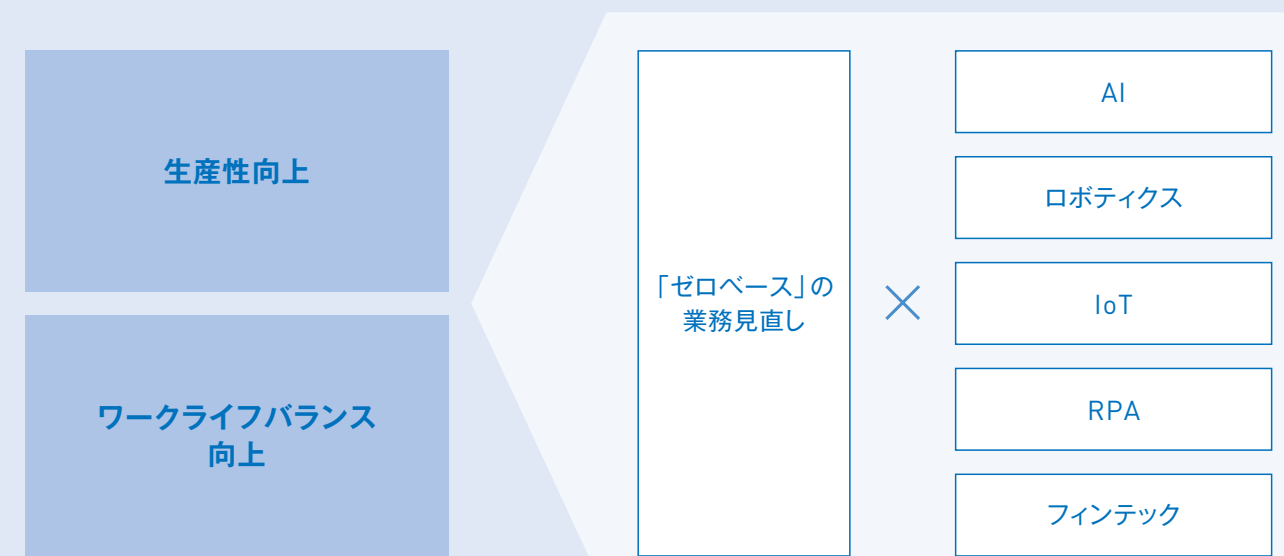
国内環境ビジネスの  
リーダー企業へ

健康関連ビジネスの  
世界ナンバーワンブランドへ

#### 1. 次代を支える新たな事業基盤の構築



#### 2. 情報処理技術を活かした生産性向上と働き方改革



#### 3. グループ全社員によるアサヒウェイの共有

## ▶アサヒホールディングスの歩み

|      |  |
|------|--|
| 1952 | 大阪市城東区に「朝日化学研究所」を創立                          |
| 1964 | 株式会社へ組織変更                                    |
| 1974 | 福岡営業所開設<br>以降全国各地へ営業所を展開                     |
| 1978 | 神戸市東灘区に本社社屋を竣工                               |
| 1997 | 「アサヒプリテック株式会社」に社名変更                          |
| 1998 | 本社機能を神戸市中央区に移転<br>研究開発施設テクノセンターを<br>神戸市西区に開設 |

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 1999 | 店頭市場に株式公開                    |
| 2000 | 東京証券取引所第二部に株式上場              |
| 2002 | 東京証券取引所第一部に株式上場              |
| 2009 | 持株会社「アサヒホールディングス株式会社」<br>を設立 |

|      |   |
|------|---|
| 2012 | アサヒウェイを制定<br>東京証券取引所ESG銘柄に選定される                   |
| 2015 | 監査等委員会設置会社へ移行<br>指名委員会と報酬委員会を設置<br>業績連動型株式報酬制度を導入 |
| 2016 | IFRS（国際会計基準）を適用                                   |
| 2017 | 新株式発行等による増資を実施                                    |



### 第1幕 1952年 創業～

### 第2幕 1999年 株式公開～

### 第3幕 2012年 新たな発展へ～

**貴金属事業**

|      |                                   |
|------|-----------------------------------|
| 1952 | 写真定着液からの銀のリサイクル事業を開始              |
| 1975 | 小型電解回収装置「プラタ」を開発                  |
| 1982 | デンタル分野からの<br>貴金属リサイクル事業を開始        |
| 1984 | メッキ分野からの<br>貴金属リサイクル事業を開始         |
| 1986 | 電子材料・宝飾分野からの<br>貴金属リサイクル事業を開始     |
| 1986 | 小型電解金回収装置<br>「ジバング」を開発            |
| 1994 | ASAHI G&S SDN. BHD.を<br>設立（マレーシア） |
| 1998 | 歯科用合金製造を開始                        |



|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 2003 | 上海朝日浦力環境科技有限公司を設立<br>自動車触媒事業を開始 |
| 2006 | 韓国アサヒプリテック（株）を設立                |
| 2011 | Eスクラップ事業を開始<br>精密洗浄事業を開始        |



**環境保全事業**

|      |                                  |
|------|----------------------------------|
| 1972 | 写真廃液の無害化処理施設を<br>神戸工場に設置         |
| 1975 | 神戸市の産業廃棄物処理業許可を取得<br>（写真廃液無害化処理） |
| 1978 | 環境計量証明事業所の登録                     |
| 1990 | 写真廃液以外の<br>環境保全事業を開始             |



|      |   |
|------|---|
| 2004 | 日本ケミテック（株）がグループに加わる                     |
| 2006 | （株）太陽化学がグループに加わる                        |
| 2007 | アサヒプリテック北九州事業所を設置                       |
| 2008 | ジャパンウェイスト（株）を設立<br>富士炉材（株）がグループに加わる     |
| 2009 | JWガラスリサイクル（株）が<br>グループに加わる              |
| 2010 | ジャパンウェイスト横浜事業所を設置<br>エコマックス（株）がグループに加わる |

|      |   |
|------|---|
| 2013 | 朝日浦力科技股份有限公司を設立（台湾）   |
| 2015 | 英Johnson Matthey社から<br>北米（米国・カナダ）の金・銀精錬事業を買収し、<br>Asahi Refining USA Inc.と<br>Asahi Refining Canada Ltd.<br>を設立 |

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 2017 | 日本ケミテックと<br>エコマックスを<br>ジャパンウェイストに統合 |
|------|-------------------------------------|

グループ企業  
の地域拠点を  
統合（10拠点）

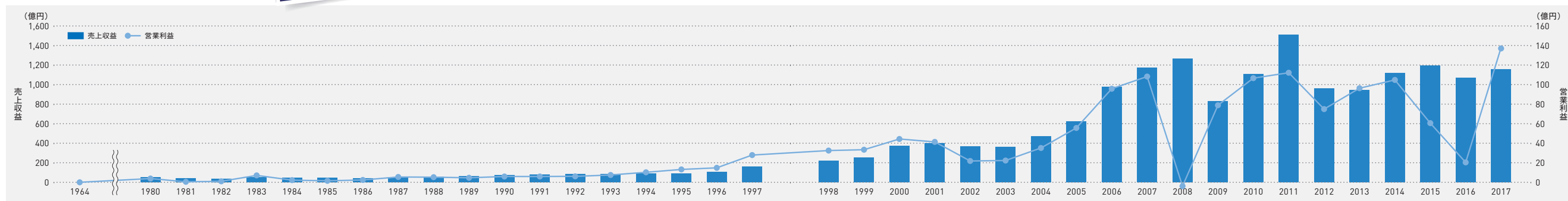
**ライフ＆ヘルス事業**

|      |  |
|------|--|
| 2012 | （株）インターセントラル<br>がグループに加わる                                      |
| 2014 | 紘永工業（株）がグループに加わる<br>（株）フジ医療器がグループに加わる<br>ライフ＆ヘルス事業を新たなセグメントとする |
| 2018 | アサヒライフ＆ヘルス（株）を設立<br>Fujiiryoki, Inc.（フジ医療器の米国子会社）<br>を設立       |

### 歴史の中で育んだアサヒの強み

- ステークホルダーとの良好な関係
- 信頼されるアサヒブランド
- グローバルに広がるネットワーク
- 変化への対応力
- 事業を再生する経営力
- 業界をリードする独自の技術
- モラルの高い社員集団
- 健全な財務体質

### 業績推移



## ▶アサヒホールディングスの価値創造

### 3つの事業領域

わたしたちは、限りある資源を大切に、地球の環境を保全し、人々の健康をサポートします。



### 価値創造を支える8つのファクター

会社の「革新と挑戦」の歴史の中で育んだ強み

#### 変化への対応力

事業環境の変化を敏感に察知し、柔軟な発想と果敢な行動力で、創業以来、未知の事業分野にチャレンジしてきました。ライフサイクルが衰退期を迎えた事業分野からは素早く撤退し、新たな事業分野では独創性のあるビジネスモデルを築いて、成長を維持し続けています。

#### 業界をリードする「独自の技術」

高度な分析力と高い効率で貴金属を回収する技術、さまざまな産業廃棄物を適正に処理する技術、顧客のニーズを的確に捉えて商品開発を進める技術を誇ります。不断の研究開発により、各事業分野で“独自の技術”を磨き続けています。

#### モラルの高い社員集団

全社共通の価値観である“アサヒウェイ”を共有し“信頼と絆”を大切に、“革新と挑戦”のマインドに満ちた社員が成長を担ってきました。多様な人材を受け入れ、社員の健康・安全に最大限配慮し、働く環境を整える等積極的に人材に投資し、モラルの高い社員集団を形成し続けています。

#### ステークホルダーとの良好な関係

ステークホルダーとの対話を大切にしています。投資家との対話を積極的に行い、顧客や取引先の声に耳を傾け、ガバナンスの強化、商品・サービスの開発に活かしています。社員はもとより地域との信頼関係を大切に、長期的な企業価値の向上に取り組んでいます。

#### 事業を再生する経営力

過去20年間で、20社以上の会社をM&Aでグループに取り込み、経営改善を進めてきました。ほとんどすべての会社がグループ入りする前よりも業績を伸ばしています。事業環境に合った柔軟な経営力によって、日本国内外の関係会社での業績向上を進めています。

#### 信頼されるアサヒブランド

当社グループの金・銀・パラジウム・プラチナはグッド・デリバリー・パーとしての認定を受け、確かな品質が世界で高く評価されています。すべての事業において、クオリティの高い製品とサービスを提供し続けることで、信頼されるアサヒブランドを築いてまいります。

#### グローバルに広がるネットワーク

1994年マレーシアにAG&Sを設立して以降、中国・韓国・台湾に貴金属リサイクルの拠点として、アジア各地に進出しました。2015年には北米の精錬事業をM&Aにより取得し、鉱山由来の精錬事業に進出したことにより、対象顧客は北米をはじめ世界各国に広がっています。

#### 健全な財務体質

M&Aや積極的な設備投資に機動的に対応できるよう、財務の健全性を確保しながら成長してきました。1999年に店頭公開、2002年に東証1部に上場、2017年に公募増資を行い、資本の充実をはかり、未来の成長を支える財務体質を整えています。

## 「この手で守る自然と資源」



当社グループにとっての価値創造とは、

事業の成長と同時に社会的課題の解決に貢献することです。

わたしたちのコアミッションは「この手で守る自然と資源」であり、1952年の創業以来、資源のリサイクルと環境保全に取り組んできました。わたしたちが続けてきた事業は、社会の持続可能性とつながるものでした。

これからも事業を通じて社会的課題の解決に取り組み続けます。

### 当社グループのSDGs貢献

SDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)とは、2015年に国連で採択された経済・社会・環境をめぐる広範囲な課題への取り組みで、企業を含む社会全体で取り組むことが求められています。当社グループでは、SDGsで定められた17のゴールの中から事業を通じて以下のゴール達成に取り組んでいます。



今後も全グループ社員がSDGs達成に向けた活動を進めて、社会的課題の解決に取り組んでまいります。